

群馬県の観光情報4月号

令和7年(2025)年4月15日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の県発表

No.	情報提供元	内 容
1	伊香保グリーン牧場 (渋川市)	<u>アルパカ達よ ようこそ、伊香保グリーン牧場へ！</u>

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	伊香保グリーン牧場 (渋川市)	<u>アルパカ達よ ようこそ、伊香保グリーン牧場へ！</u>	P.1
2	原美術館ARC (渋川市)	<u>展覧会「この、原美術館ARCという時間芸術」</u>	P.1
3	群馬県立日本絹の里 (高崎市)	<u>特別展「石原清紫展－花園に遊ぶ友禅染－」</u>	P.2
4	群馬県立館林美術館 (館林市)	<u>「鹿島茂コレクション フランスのモダングラフィック展－20世紀初頭の 風刺画からアール・デコ挿絵本、1930年代グラフィック雑誌まで」</u>	P.2
5	道の駅まえばし赤城 (前橋市)	<u>2025いちごフェスティバル</u>	P.3
6	〃	<u>第3回フリーマーケット</u>	P.3
7	高崎市タワー美術館	<u>春の野 －ようこそ。花咲く春の美術館へ－</u>	P.4
8	高崎市染料植物園	<u>ゴールデンウィーク特別イベント 藍染で麻のコースターを染めよう</u>	P.4
9	群馬県立土屋文明記念 文学館(高崎市)	<u>企画展 百花繚乱！浮世絵×文学</u>	P.5
10	群馬県立歴史博物館 (高崎市)	<u>新春特別収蔵品展 いまさらですが…博物館資料の見かた・楽しみ かた～ついでにハニワも大放出！～</u>	P.5
11	〃	<u>特集展示 古墳時代ぐんまの国宝埴輪と東博埴輪</u>	P.6

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	伊香保グリーン牧場 (渋川市)	<u>アルパカ達よ ようこそ、伊香保グリーン牧場へ！</u>
2	原美術館ARC(渋川市)	<u>展覧会「この、原美術館ARCという時間芸術」</u>
3	群馬県立日本絹の里 (高崎市)	<u>特別展「石原清紫展－花園に遊ぶ友禅染－」</u>
4	群馬県立館林美術館 (館林市)	<u>「鹿島茂コレクション フランスのモダングラフィック展－20世紀初頭の風刺画からアール・デコ挿絵本、1930年代グラフィック雑誌まで」</u>
5	大川美術館(桐生市)	<u>エコール・ド・パリの画家たちと松本竣介</u>
6	高崎市タワー美術館	<u>春の野 ようこそ。花咲く春の美術館へ</u>
7	道の駅まえばし赤城(前橋市)	<u>2025いちごフェスティバル</u>
8	〃	<u>第3回フリーマーケット</u>
9	伊勢崎市 建築部住宅課 空家対策係	<u>移住者支援空き家改修補助金</u>

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

伊香保グリーン牧場に新たな仲間！ アルパカ4頭をお迎えしました【渋川市】

アルパカ達よ ようこそ、伊香保グリーン牧場へ！

伊香保グリーン牧場では、新たな動物としてアルパカ4頭を迎え、一般公開を開始いたしました。
群馬県内では珍しいアルパカとのふれあいが楽しめる施設として、地元の皆さまや遠足で訪れるお子さま、観光で伊香保を訪れるお客さまに新たな魅力を提供してまいります。

今回迎えたアルパカは、新潟県にある「山古志アルパカ牧場」からやってきました。アルパカは群れで暮らす動物であり、今回の4頭も元々同じ群れで過ごしていたため仲が良く、新しい環境にも少しずつ慣れ始めています。

伊香保グリーン牧場では、アルパカたちとのふれあい体験を充実させ、訪れる皆さまに癒しと楽しいひとときを提供できるよう努めてまいります。

伊香保グリーン牧場ホームページ <https://www.greenbokujo.jp/>

日時	◆公開中	 アルパカたち
場所	◆渋川市 伊香保グリーン牧場	
交通	◆電車：JR上越線 渋川駅下車 伊香保温泉行バスで20分 ◆車：関越自動車道 渋川伊香保I.Cから15分	
担当	◆伊香保グリーン牧場 広報担当 宮崎 080-1177-3532	

展覧会「この、原美術館ARCという時間芸術」 【渋川市】

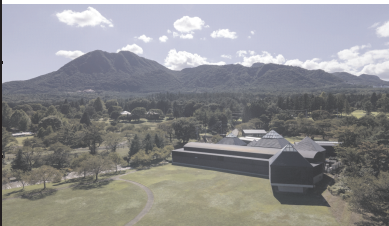
原美術館ARCは時間芸術なのではないか？

四季折々の美しい風景や、自然環境と磯崎新建築が鑑賞者の感受性に作用する原美術館ARCでの鑑賞体験を丸ごと「時間芸術」と捉える展覧会です。

◆展覧会の見どころ

1. 特別企画として、ジャネット カーディフの初期代表作「40声のモテット」を、磯崎新設計の原美術館ARCギャラリーAに展示。人工照明を用いず、天窓からの自然光の下でのサウンドインスタレーション体験 ***期間限定：5月11日まで！**
2. 原美術館コレクションから、2024年高松宮殿下記念世界文化賞を受賞したソフィ カルの「限局性激痛」を展示
3. 展示室のみならず、屋外作品や自然環境を含めた原美術館ARC全体を詩や音楽のような時間芸術として鑑賞

<https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/exhibition/1815/>

日時	会期 第1期：3月15日（土）—5月11日（日） 第2期：5月16日（金）—7月6日（日） 休館日：木曜日（3/20、5/1は開館）、5月12日—5月15日	 原美術館ARCと榛名山麓
場所	原美術館ARC	
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8 km、約15分。	
担当	原美術館ARC	

群馬県立日本絹の里 特別展【高崎市】

特別展「石原清紫展－花園に遊ぶ友禅染－」

草花の特徴的な部分を抽象化してデザインし、制作する伊勢崎市在住の友禅作家・石原清紫さんの作品を紹介する展覧会です。友禅染ならではの発色の柔らかさによる、絹の染色作品の素晴らしさをご堪能ください。

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>



(チラシ)

日時	◆会期：令和7年5月24日（土）～7月6日（日） ◆開館時間：9時30分～17時 ◆休館日：火曜日
場所	◆群馬県立日本絹の里（群馬県高崎市金古町888-1）
交通	◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約20分
担当	◆群馬県立日本絹の里（担当：東條）Tel.027-360-6300

県立館林美術館【館林市】

「鹿島茂コレクション フランスのモダングラフィック展 －20世紀初頭の風刺画からアール・デコ挿絵本、1930年代グラフィック雑誌まで」

本展は、膨大な古書コレクターとして知られるフランス文学者、鹿島茂氏のコレクションより、20世紀前半フランスの書籍・雑誌におけるグラフィック・イラストレーションや写真の図版に注目し、新しい時代の表現、すなわち「モダン」の様相を探るものです。風刺雑誌、モード（ファッション）やバレエのイラストレーション、都市生活を映すデパートの出版物、1920年代アール・デコの豪華挿絵本、写真が主役となる1930年代のグラフィック雑誌まで、多数の作品を通して、20世紀前半フランスの出版物に現れたモダンな表現やデザインを紹介します。フランスのモダングラフィックの豊かな世界をご堪能ください。

最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。

【美術館HP】<https://gmat.pref.gunma.jp/>

日時	◆2025年4月26日（土）～6月29日（日）
場所	◆群馬県立館林美術館
交通	◆東武伊勢崎線多々良駅から約1.2km（徒歩20分） ◆東武伊勢崎線館林駅から約4km（タクシー東口より10分）
担当	◆学芸係 伊藤香織（TEL0276-72-8188）



『オ・ボン・マルシェのアジャンダ』1929年
鹿島茂コレクション ©NOEMA Inc. Japan

道の駅まえばし赤城 2025いちごフェスティバル 【前橋市】

昨年大好評企画 いちごフェスティバルがかえってきた!!

「いちご」推しの前橋を盛り上げるため、道の駅まえばし赤城では、昨年大好評であったいちごフェスティバルを、今年度も開催します。

Akagi FarmLife(農畜産物直売所)に出荷しているいちご農家さんの「いちご」を使用した、「いちご」スイーツの販売や、各テナントの「いちご」新メニュー等、「いちご」づくしの1ヶ月、ぜひお楽しみください。
さらに、4月26日(土)限定で、「いちごマルシェ」を開催。群馬県が誇る“やよいひめ”他、旬の野菜販売や試食もご用意しています。

◆道の駅まえばし赤城 2025いちごフェスティバルHP
<https://maebashi-akagi.jp/amuse/post-12937>

日時	いちごフェスティバル2025年4月7日(月)～5月7日(水) いちごマルシェ 2025年4月26日(土) 9:00～15:00	
場所	道の駅まえばし赤城	
交通	◆車 : 関越自動車道 渋川伊香保IC/駒寄スマートICより 約10分 ◆電車: JR前橋駅より渋川駅行きバスで約25分、 法華沢バス停で降車、徒歩10分 ※土日祝日のみ: JR前橋駅より道の駅「まえばし赤城」行が運行しています。	
担当	◆道の駅まえばし赤城 (027-233-0070)	

いちごフェスティバル
アイキャッチ画像

道の駅まえばし赤城 第3回フリーマーケット 【前橋市】

前回より区画数を大幅に増加! 3回目のフリーマーケット開催

今回で、第3回目を迎える「フリーマーケット」。前回より区画数を増やし、最大60区画で開催いたします。

今回も、地域交流の場やものの循環の場として、出店者様はじめご来場いただいた皆さまにもお楽しみいただければと思います。

◆道の駅まえばし赤城 第3回フリーマーケットHP
<https://maebashi-akagi.jp/amuse/post-13126>

日時	2025年5月10日(土) 10:00～15:00	
場所	道の駅まえばし赤城	
交通	◆車 : 関越自動車道 渋川伊香保IC/駒寄スマートICより 約10分 ◆電車: JR前橋駅より渋川駅行きバスで約25分、 法華沢バス停で降車、徒歩10分 ※土日祝日のみ: JR前橋駅より道の駅「まえばし赤城」行が運行しています。	
担当	◆道の駅まえばし赤城 (027-233-0070)	

第3回フリーマーケット
アイキャッチ画像

高崎市タワー美術館【高崎市】

春の野 —ようこそ。花咲く春の美術館へ—

春の訪れをつげる梅、咲き誇る桜。日本の四季の中でもとりわけ草花が萌ゆる春は人々に愛されています。本展覧会では、「梅」「桜」「牡丹」や、春の気配を描いた日本画とともに、庭先や道端の草花などを描く上野瑞香、染色の伝統技法「ろうけつ染め」を用いて、花や女神像を色鮮やかに絹布に染める大竹夏紀の作品も紹介します。ぜひ美術館で春を感じてください。

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/tower/59403.html>

日時	◆令和7年4月12日(土)ー令和7年6月8日(日)	
場所	◆高崎市タワー美術館(高崎市栄町3-23)	 中島千波《夢殿の枝垂桜》 1992年 寄託作品
交通	◆JR高崎駅東口より徒歩2分	
担当	◆高崎市タワー美術館(027-330-3773)	

ゴールデンウィーク特別イベント 高崎市染料植物園【高崎市】

藍染で麻のコースターを染めよう

高崎市染料植物園では、ゴールデンウィーク特別イベント「藍染で麻のコースターを染めよう」を開催します。30分程度でできる簡単な藍染体験です。

◆実施日時 4月29日(火)・5月3日(土)・5月4日(日)・
5月5日(月・祝)・5月6日(火・祝)
いずれも 午前の部 10:00~11:30
午後の部 13:00~14:30

◆随時受付、参加費300円(1枚)
※混雑時は少しお待ちいただくことがあります。

◆詳細は、染料植物園ホームページ
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/senryou/>

日時	◆4月29日、5月3日・4日・5日・6日	
場所	◆高崎市染料植物園(高崎市寺尾町2302-11)	
交通	◆JR高崎駅からバスで約30分。駐車場170台。	
担当	◆高崎市染料植物園(TEL027-328-6808)	

藍の麻コースター

群馬県立土屋文明記念文学館 企画展【高崎市】

百花繚乱！浮世絵×文学

江戸時代に誕生し、民衆の心を魅了した浮世絵。その中には、物語の有名な一場面を描いたものや登場人物など、文学を題材にしている作品が数多くあります。

本展では、風景画で人気を博した歌川広重の浮世絵木版画『東海道五拾三次』全五十五図を、当時旅ブームの火付け役となった滑稽本『東海道中膝栗毛』の弥次郎兵衛と喜多八の旅の様子とともに紹介します。また、万葉歌とともに伊香保の風景が描かれた広重の『伊香保八景』のほか、源氏物語や百人一首などの古典文学を題材とした、葛飾北斎や歌川国芳らの作品を展示します。

<https://bungaku.pref.gunma.jp/>

日時	◆会期：令和7年4月19日（土）～6月22日（日） ◆開館時間：9時30分～17時（観覧受付16時30分まで） ◆休館日：火曜日
場所	〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 群馬県立土屋文明記念文学館
交通	◆車：関越自動車道前橋ICから約15分 ◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分
担当	群馬県立土屋文明記念文学館 TEL027-373-7721



企画展チラシ

群馬県立歴史博物館 春の特別収蔵品展【高崎市】

いまさらですが…博物館資料の見かた・楽しみかた～ついでにハニワも大放し！～

「何でこの古文書は紙の下半分に何も書かないの？」「ハニワは破片で見つかったけど、どうやって復元するの？」「この写真の中の古い街は、いつのどこの街？」など、展示資料についての疑問を想定し、目からウロコの見方を紹介いたします。

ただ鑑賞するのではなく、自分なりの疑問や好奇心をもって博物館資料をご覧ください、その楽しさをお伝えします。

国指定重要文化財の「家型埴輪」をはじめ、各時代・各分野の新収蔵品や人気収蔵品、本県出身の考古学者である、設楽博己東京大学名誉教授のコレクションの一部を展示し、資料の見かた・楽しみかたをご紹介します。

【当館HP】<https://grekisi.pref.gunma.jp/>

日時	◆2025年4月19日（土）～6月15日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）
交通	◆車：上信越自動車道の「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。
担当	◆学芸係 関口 （027-346-5522）



春の特別収蔵品展 ポスター

群馬県立歴史博物館 特集展示【高崎市】

古墳時代ぐんまの国宝埴輪と東博埴輪

- 東京国立博物館（東博）に所蔵されている、群馬県ゆかりの埴輪3体が「里帰り」
- 綿貫観音山古墳（高崎市）から出土した国宝指定埴輪との「共演」が実現
- 埴輪造形の豊かさと古墳時代東国の輝きを実感、出土古墳の最新情報も紹介

【当館HP】 <https://grekisi.pref.gunma.jp/>

日時	◆2024年10月22日（土）～2025年5月25日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）	 太田市四ツ塚古墳埴輪 盛装の男子 東京国立博物館所蔵 出典 ColBas
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）	
交通	◆車：上信越自動車道の「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。	
担当	◆学芸係 飯田 （027-346-5522）	